

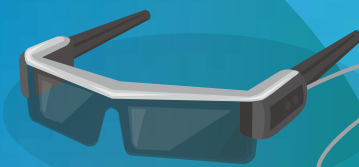
TDK Today

Vol.54

2014年4月1日 ▶
2014年9月30日

Wearable Terminals & TDK

特集
ウェアラブル端末と
TDK



株主の皆様へ

バランスの取れた 利益構造の確立と 成長戦略の加速により、 収益力のさらなる強化を 進めてまいります。



代表取締役社長

上 釜 健 宏

2015年3月期 上半期の業績について

株主の皆様におかれましては平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2014年9月30日に終了しました2015年3月期上半期(2014年4月1日から9月30日までの6ヶ月間)の連結業績についてご報告申し上げます。

2015年3月期 上半期連結業績概要

売上高	5,023億円 (前年同期比 3.8%増)
営業利益	279億円 (同 64.1%増)
当期純利益	181億円 (同 182.8%増)

当社グループが製造・販売する電子部品は、様々なエレクトロニクス製品に組み込まれており、当社グループの連結業績は、それら製品の需要動向に大きく影響を受けます。当上半期における主要なエレクトロニクス製品の市場動向は、下記の通りでした。

- ・スマートフォンの生産は、中国市場における需要拡大や大手メーカーより新型端末が発売されたことなどにより前年同期の水準を大幅に上回りました。
- ・タブレット端末の生産も、前年同期の水準を上回って推移しましたが、需要の伸びに若干陰りも見え始めております。
- ・自動車の生産は、米国での堅調な販売に支えられ、前年同期に比べ増加しました。
- ・パソコンの生産は、4月以降もWindows XPサポート終了に伴う買い替え需要が継続し、当初市場で想定されていた生産減少に反して、前年同期と同じ水準となりました。
- ・ハードディスクドライブ(HDD)の生産は、パソコンやゲーム機の需要増に伴い、前年同期より若干増加しております。

<2015年3月期 上半期決算のポイント>

- 売上は過去最高の5,023億円。
営業利益は前年同期から64%増の279億円。
- 受動部品の売上・営業利益が半期ベースで過去最高。
(営業利益は前年同期から倍増)

自動車市場向け、中国・北米スマホ向け販売が好調。

- フィルム応用製品は、第1四半期(1Q)は低調も上半期では前年同期と同水準の利益を確保。二次電池は2Qから北米スマホ向け販売が好調。

● 受動部品事業

- 売上 2,558億円(前年同期比 8.2%増)
営業利益 176億円(同 95.6%増)

セラミックコンデンサは、堅調な自動車市場を中心に売上を伸ばし、生産性改善により利益率が向上しました。インダクティブデバイスは、好調なICT(情報通信技術)市場及び自動車市場向けの販売が増加し、品種構成の良化で利益が拡大しました。高周波部品は、旺盛な中国スマホ向け需要を中心にディスクリット製品(個品)の販売が好調で、生産性改善効果や品種構成の良化により収益が大幅に改善しました。圧電材料部品は、自動車向け部品やカメラモジュール用VCMの販売が増加しました。

● 磁気応用製品事業

- 売上 1,775億円(前年同期比 0.9%減)
営業利益 153億円(同 23.4%増)

記録デバイス(HDDヘッド)は、生産性改善効果や品種構成の良化により前年同期と同水準の利益を確保しました。マグネットは、前年同期のフェライトマグネットの拠点集約費用がなくなったことなどにより赤字が縮小しました。電源は、半導体製造装置、FA機器、計測機器などの産業機器市場向け販売が堅調に推移しました。

● フィルム応用製品

- 売上 597億円(前年同期比 0.8%増)
営業利益 55億円(同 1.9%増)

エネルギーデバイス(二次電池)は、2Qから北米向け販売が大きく立ち上がるとともに、中国向け販売も拡大しました。

為替変動の影響は、前年同期に比べ対米ドルレートで4.2%、対ユーロレートで6.9%のそれぞれ円安となり、売上高で約169億円の増収、営業利益で約32億円の増益となりました。

2015年3月期 下期見通しについて

下半期における当社グループの重点市場と事業分野別の動向は下記の通りです。

【重点市場別の動向】

自動車

- ・欧米メーカーを中心に下期も堅調に推移する見込み
- ・国内は上期の販売台数が前年割れ、下期は横ばい、または微増の予測
- ・電気自動車やハイブリット自動車などは主要市場の日本や米国で販売台数の伸びが鈍化

ICT

- ・中国スマホは2Qの調整局面から3Qは生産回復へ
- ・北米スマホは好調。3Qに生産がピークで4Qも前年を上回る見込み
- ・HDD市場は期初想定より下期も堅調に推移する見込み

産業機器及びその他

- ・工作機械、ロボット関係は下期も好調を維持する見込み

【事業分野別の動向】

■ 受動部品事業

インダクティブデバイスは、金属系（薄膜、積層）製品の販売が拡大し、高周波コイル（積層）の需要が増加、高周波部品は、ディスクリット製品の販売が増加すると見込んでいます。また、圧電材料部品は、VCM*（高画素、高特性品）の販売の増加とOIS**の引合いの増加を見込んでいます。

*VCM:高速オートフォーカスアクチュエータ
**OIS:手振れ防止アクチュエータ

■ 磁気応用製品事業

HDDヘッドは、2Qから3Qにかけて数量が増加し、マグネットは、HDD用磁石の販売が減少すると見込んでいます。また、電源は、EV電源の顧客需要が下振れすると見込んでいます。

■ フィルム応用製品事業

二次電池は、北米、中国向け需要は3Qがピークですが、4Qも前年同期比でプラスの見込みです。

<業績と配当の見通しについて>

以上の動向などを踏まえ、2015年3月期の業績の予想と配当の見通しは下記の通りです。

2015年3月期 連結業績予想及び配当金見通し

※3Q以降の平均為替レートは対米ドル105円、対ユーロ135円を想定（2014年10月31日時点）

売上高	10,500億円（前期比 6.7%増）
営業利益	630億円（同 72.1%増）
当期純利益	370億円（同 127.0%増）

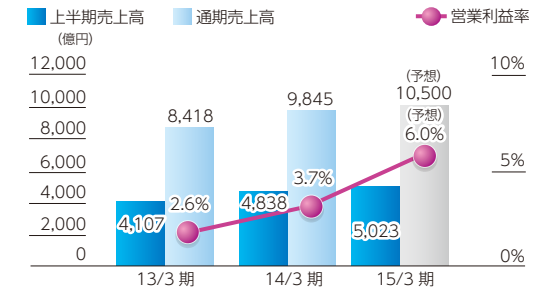
中間配当	40円
期末配当	（見通し）40円
年間配当	（見通し）80円

当社グループは下期に向けて、重点市場である自動車、ICT、産業機器の3分野に引き続き注力し、受動部品、磁気応用製品、フィルム応用製品の3事業のバランスの取れた利益構造の確立と成長戦略の加速により、収益力のさらなる強化を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

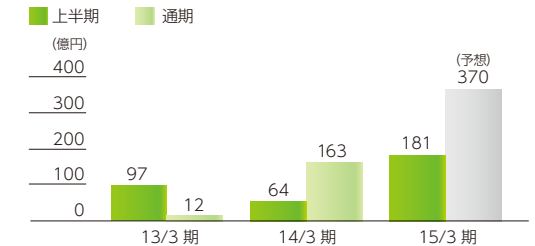
代表取締役社長 上釜 健宏

売上高及び営業利益率

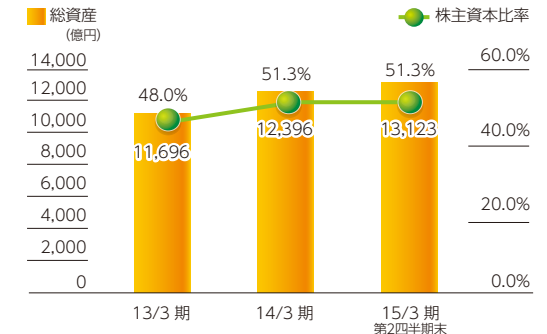


（注）2014年3月期に非継続となった事業について、過年度の数値を一部組替えております。

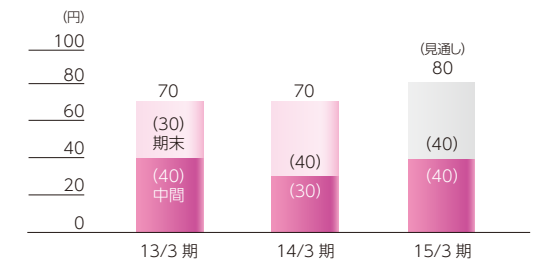
当期純利益



総資産及び株主資本比率



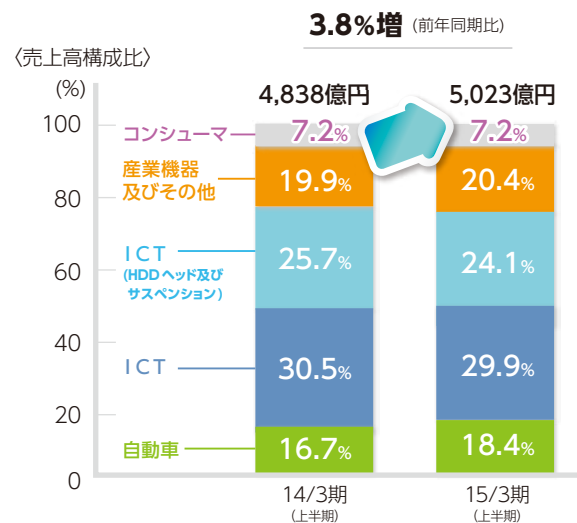
1株当たり配当金



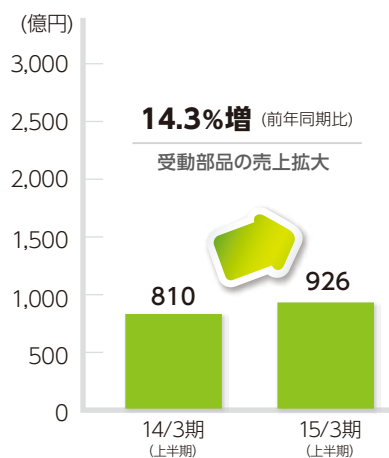
（予想と見通し：2014年10月31日発表）

重点市場別売上の状況 (2015年3月期上半期)

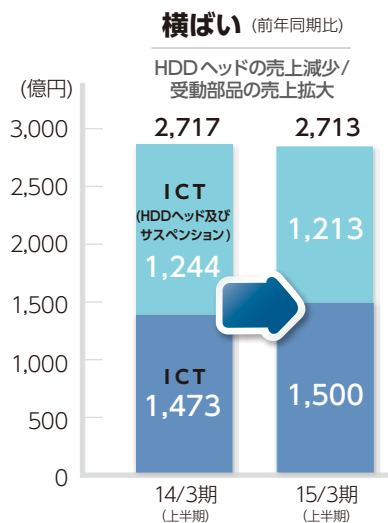
●全体



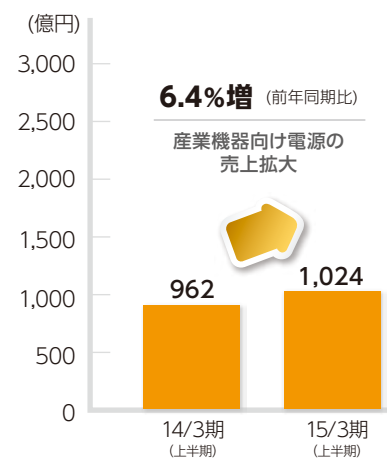
●自動車



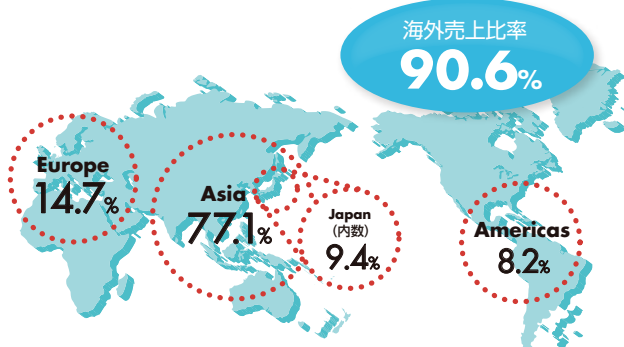
●ICT



●産業機器及びその他



地域別売上構成 (2015年3月期上半期)



当社グループはグローバルに事業を展開しており、海外売上比率は90%を超えています。また、地域別では、日本を含めたアジア地域が77.1%と、最も大きな割合を占めています。

期待の新製品



-55~125℃の幅広い温度環境で使用可能

2015年1月から量産開始

EMC対策部品：車載向け3端子貫通フィルタシリーズを開発

近年の自動車はますますエレクトロニクス化が進み、「走る・曲がる・止まる」という自動車の基本性能の向上はもちろんのこと、最近では「安全」に関わる衝突防止用のカメラやレーダーの搭載が増加してきています。これに伴い、自動車内で発生する各種ノイズの対策部品のニーズは高まる一方です。

TDKでは、蓄積された車載用チップコンデンサの設計技術を、EMC対策部品*として実績のある3端子貫通フィルタ**に展開することで、今後の自動車の安全・安心に貢献していきます。

* EMC対策部品：ノイズ対策に使われるコンデンサ、インダクタ、チップビーズ、バリスタ、3端子フィルタ、共通モードフィルタ、電磁シールド材などの総称です。
** 3端子貫通フィルタ：EMC対策部品の一つで、入力、出力、グラウンド(アース)の3つの端子をもつため3端子フィルタといいます。単体のインダクタやコンデンサ、チップビーズよりも、大きな減衰効果を持ち、すぐれたノイズ除去特性を示します。

TOPICS

TDKの巻き線型チップコイルが 「未来技術遺産」に登録されました。



▲記念盾



▲登録証



▲巻き線型チップコイル
製作時期:1982年～1993年頃

自然史・科学技術史に関する総合博物館である、国立科学博物館では、科学技術の発達史上重要な成果を示し、次世代に継承していく上で重要な意義を持つものや、国民生活、経済、社会、文化の在り方に顕著な影響を与えたものを、「重要科学技術史資料」(愛称:未来技術遺産)として登録しています。

2014年9月2日、この「重要科学技術史資料」に、TDKの巻き線型チップコイル(TDK磁気シールド型チップインダクタ FCL354531 Type)が認定されました。評価されたポイントは、次の点です。

- 巻き線型チップインダクタは、テレビ、ビデオなど電子機器の高性能化・小型化に欠かせない電子部品であること。
- 高信頼性品、小型立方体で、完全密閉形ではんだDipが可能、完全磁気シールドで素子間の相互干渉が極めて少ない点などで、車輛用通信機器、自動車電話、厚膜集積回路のインダクタ、チョークコイルとして用いられたこと。

現在でも巻き線型チップインダクタは、車載用トランスポンダ(タイヤ空気圧監視システムやキーレス・エントリーなどに利用される小型・高感度のアンテナコイル)などのように、さらなる進化を続けており、様々なセット製品(最終財)の高性能化に寄与しています。

TDKでは今回の認定を励みに、今後も社会に貢献する製品開発を続けていきます。

世界 & 遺産 GLOBAL TDK

昌徳宮

～朝鮮王朝の雰囲気を感じ、
韓国を代表する宮殿です。～



Vol.6 韓国編

このコーナーでは、海外のグループ企業と、その国にある世界遺産をシリーズで紹介。第6回目は韓国です。

1997年にユネスコ世界文化遺産に指定された朝鮮王朝時代の王宮が、昌徳宮(チャンドック)です。1405年に朝鮮王朝の離宮として建てられ、焼失後の1610年に再建された後、約270年の長きにわたって正宮として使われました。朝鮮王朝の国王が最も長く住んだ宮殿であることから、韓国を代表する宮殿と言われています。周辺の自然と調和した庭園は、韓国一番とされる美しさを誇り、庭園の中にはさまざまな東屋や泉などが散在し、当時の姿ながらの美しい状態で保たれています。特に、秋の紅葉シーズンは美しく、地元の市民や観光客など数多くの人々が訪れます。韓国の首都ソウルの現代的な街並みの中に、長い歴史の香りを漂わせて、大都会に残された自然と融和する昌徳宮は、韓国訪問の際にはぜひ一度訪れてみたい場所です。

韓国のグループ企業紹介

TDK韓国は1973年にソウル特別市に設立され、2011年10月に京畿道平澤市に移転しました。主な製品はフェライトコアで、フェライト～コイルの一貫生産も開始しました。韓国市場でのお客様のニーズに迅速に対応するために、コイル、トランス、高周波部品などの設計およびFAE*機能を強化し、情報発信基地としての価値向上を目指していきます。

*FAE: フィールド・アプリケーション・エンジニアリング。お客様に対して、製品に関する技術的な説明を行うなど、技術的なサポートを提供すること。



▲韓国市場へ巻線コイルなどの最新製品を提供しているTDK韓国

特集 ウェアラブル端末とTDK ~TDKの技術・製品が真価を発揮する新たな注目市場~

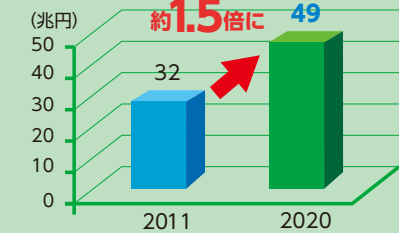
ウェアラブル端末ってなに？

2015年頃から本格的な普及が始まるといわれるウェアラブル端末は、「手に持つ」のではなく「身につけて」携帯する新時代のICT（情報通信技術）機器。ポスト・スマートフォンともいわれますが、スマートフォンに取って代わるわけではなく、スマートフォンと連携する小型端末で、パソコンや周辺機器、スマートテレビなどの家電機器の操作にも使用されるようになると予測されています。また、各種センサの搭載で、フィットネスやヘルスケア、メディカル、スポーツ分野などでの活用が広がっています。2020年に開催される東京オリンピックは、ウェアラブル・オリンピックになるといわれ、これから急成長が見込まれる市場です。

ウェアラブルの需要の拡大は、ヘルスケア・メディカル関連市場がリード

スマートフォンやタブレット端末などのICT機器が進化を続ける中で、新たに注目されているウェアラブル端末。ウェアラブル端末の活躍が期待できるヘルスケア・メディカル関連市場の市場規模は、2020年には世界全体で、2011年の約1.5倍に達すると予測されています。

世界のヘルスケア・メディカル市場規模見通し



出典:電子情報技術産業協会の動向調査より

※ 品目範囲: 情報システム/サービス/アプリ、医療機器(家庭用含む)

ウェアラブル端末は私たちの身近なところで活躍します。たとえば…

ウェアラブル端末

リストバンド型 (ヘルスケア/フィットネス機器)

- 歩数・活動量・体温・心拍数・血中酸素濃度・血糖値・睡眠などの計測・データ送信
- ライフログ(生活記録)

*Bluetooth PAN(パーソナル・エリア・ネットワーク): パソコン、タブレット端末やスマートフォンなどとウェアラブル端末を近距離無線通信で結んでネットワークを形成する技術です。

**Bluetooth Low Energy (BLE): 低エネルギーBluetoothと呼ばれるBluetoothの小電力無線で、PANにつながるスマートフォンなどのさまざまな機器・端末のバッテリーの持ちを良くします。

Bluetoothなどにより
スマートフォンやタブレット端末
と連携



Bluetooth PAN* &
Bluetooth Low Energy**



腕時計型 (スマートウォッチ)

- ハンズフリー通話
- メールなどの新着通知
- 写真・動画・音楽プレーヤー

ウェアラブル端末に
さらに求められる
ニーズとは？



メガネ型 (スマートグラス)

- 目の前にディスプレイ表示(メール、地図、各種情報)
- ハンズフリー通話・撮影
- ナビ機能

(注) Bluetoothは米国内におけるBluetooth SIG, Inc.の登録商標または商標です。

TDKはウェアラブル端末の進化に小型化・薄型化で貢献!

従来の電子部品の小型化・薄型化の方法では、さまざまなウェアラブル端末に求められるニーズに応えることが難しくなっています。そこで、これまでのように基板の上に電子部品を実装するのではなく、基板内部に電子部品を**埋め込む技術**が注目されています。

TDKではウェアラブル端末に向けて、電子部品・モジュール技術の深化を推進し、新たな技術や製品の開発、ソリューションの提供を通じて、お客様のニーズに応えます。

《TDKが提供するソリューション》

もっと
バッテリーの持ちを
長くしたい。

もっと
小型化したい。

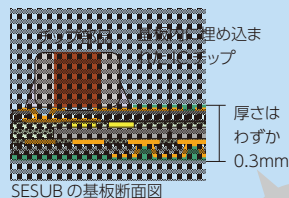
もっと
薄型化したい。

もっと
スペースを
広げたい。

IC内蔵基板“SESUB”による低エネルギーBluetooth V4.0(Smart)対応 Bluetooth Low Energy(Smart)モジュール

SESUB(セサブ)は、薄く加工した IC チップを樹脂基板内に**埋め込む** TDK 独自の IC 内蔵基板技術です。

ICチップを基板内に埋め込む



大幅な小型化を実現!

パッケージICを用いた従来品
(8.5×8.5mm)

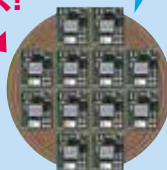


サイズを
約**1/3**に



世界最小クラス!

SESUB 技術による
Bluetooth Low
Energy モジュール
(4.6×5.6mm)

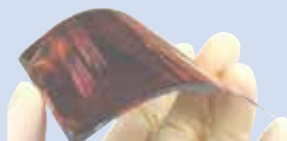


10円玉に
12個
入るサイズ

基板内蔵用薄膜キャパシタ(TFCP) ※開発品

TDKが開発した基板内蔵用薄膜キャパシタは、ICパッケージの基板内部に**埋め込む**ことができる超薄型で、フレキシブルな新タイプのキャパシタです。

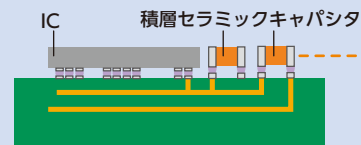
超薄型でフレキシブル



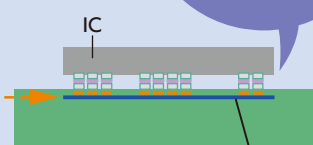
衣服への貼り付け型ウェアラブル端末などにも対応可能です。

折り曲げも
自由自在

圧倒的な薄型化を実現!



従来の基板パッケージ



TFCP 基板パッケージ

TFCP

基板の
スペースを
拡大

まだまだ
あります!

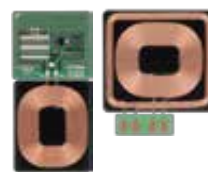
ウェアラブル端末向けの TDKの技術はいろいろ!

TDKでは、他にもウェアラブル端末に搭載可能なさまざまな部品を開発・製品化しています。

スマートフォンなどのワイヤレス充電に使用される TDK の高効率の**非接触給電コイル**は、ウェアラブル端末にも応用可能です。また、ウェアラブル端末では、高性能の**センサ**が求められます。TDKでは先進の薄膜技術やMEMS(微小電気機械システム)技術を駆使した気圧センサなど、各種センサを開発、提供していきます。

非接触給電コイル

電源コードをつながなくてもスマートフォンなどにワイヤレス充電ができる受電・送電ユニット用のコイルです。



MEMS気圧センサ

先進のMEMS技術で開発した気圧センサ。スマートフォンなどに搭載して高度計などに使われます。



TDKは、先進の素材技術、薄膜技術およびプロセス技術を活かして、ウェアラブル端末の進化に貢献していきます。

株主メモ

● 株式に関するお問合せ先

証券会社等にて株式をお持ちの場合

○ 配当金の受取方法の指定、変更	お取引のある証券会社等
○ 単元未満株式の買取・買増請求	
○ 住所変更、名義変更等	
未払配当金の照会、支払い	下記の株主名簿管理人

特別口座にて株式をお持ちの場合

各種手続き等	下記の特別口座管理機関
--------	-------------

* 特別口座の方は、証券会社等に一般口座を開設し、株式を振替えることをお勧めします。
(特別口座とは、2008年12月末までにふり(証券保管振替機構)に株券をお預けにならなかった株主様の株式を、当社がお預かりし一旦管理させていただいている口座のことです)

株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先及び電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 全国各支店

〈お知らせコーナー〉

- **配当金の受取方法について：**
配当金はお受取り忘れのない、安心、確実、スピーディーな、口座振込でのお受取りをお勧めします！
- **単元未満株式の買取・買増請求について：**
単元未満株式の買取・買増請求に係る当社に対する手数料を2012年4月1日から無料とさせていただきますので、是非ご利用ください！
(但し、特別口座の株主様を除き、証券会社等に対する手数料が別途必要となる場合がありますので、ご注意ください)
- **今回お送りした「配当金計算書」について：**
毎年の確定申告を行う際、添付書類としてご使用いただくことができますので、大切に保管ください！



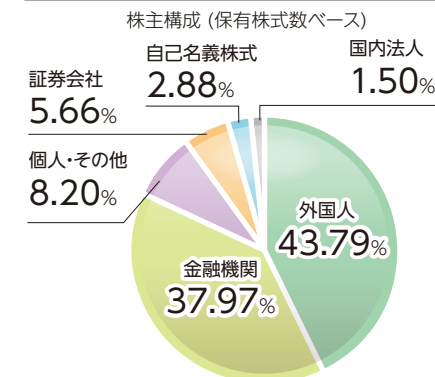
TDK株式会社
〒108-0023
東京都港区芝浦三丁目9番1号
<http://www.tdk.co.jp/>

● 株式の状況

基本情報 (2014年9月30日現在)

上場証券取引所	東京(証券コード:6762)
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当基準日	期末:毎年3月31日、中間:毎年9月30日
株主総会基準日	毎年3月31日(そのほか臨時に必要があるときはあらかじめ公告いたします)
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告(当社のホームページ http://www.tdk.co.jp/ に掲載いたします)
1単元の株式数	100株

株主の状況 (2014年9月30日現在) 株主数 23,997名



● IR年間スケジュール 当社のIRの年間スケジュール(概略)は以下の通りとなっております。



当社ホームページのご紹介

<http://www.tdk.co.jp/ir/>

当社のホームページでは、個人株主・投資家の皆様へさまざまな情報を分かりやすくご紹介しております。どうぞご覧ください。



TDK 個人投資家

検索 クリック!

【編集後記】いつも本誌、株主通信「TDK Today」をご愛読いただきまして、誠にありがとうございます。今回は特集にウェアラブル端末を取りあげてみましたが、いかがでしたでしょうか。今後も株主の皆様にも、楽しみにしていただける様な誌面作りに努めてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。師走となりました。末筆ながら、新しい年が皆様にとりまして良いお年となります様、お祈りしております。

IRトピックス

当社は、昨年に引き続き今年も、「**JPX日経インデックス400**」に選出されました。

JPX日経インデックス400とは、日本取引所グループ／東京証券取引所と日本経済新聞社により、2014年1月から算出されている新しい株価指数です。「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成されており、流動性や収益性、投資者を意識した経営観点などの基準をもとに、上位400社が選出されています。毎年1回、8月に見直しが行われます。



この冊子は植物油インクを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。